

美術科学習指導案

指導者 福田 勝雄

- 1 日時 平成27年7月3日(金) 第2校時
- 2 学級 上田中学校2年4組 男子19名 女子16名 合計35名 北校舎4階第1美術室
- 3 題材 ポスター「14歳の主張」(A表現)

4 題材について

本題材は、学習指導要領の2・3年生A表現(2)デザインや工芸の内容に「伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かしてわかりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること」をもとに設定している。本校では、1年生の時に「色彩の学習」や「木彫コースター」の制作をとおして、色彩の知識や構成美の要素を学習している。2年生では、学習したことの効果を生かして構想したり、工夫したりしながら社会や身近にある問題について考えたことを表現する活動をとおして、美術がコミュニケーションの手段として果たす役割について考えるとともに生活の中で美術を活用していく力をつけさせたい。

アンケートによると、「デザインすることが好き」と答えた生徒は74%だった。好きな理由としては「想像することが好き」という回答が多かった。反対に嫌いだと答えた生徒は26%で、その理由としては、「いいアイデアが思いつかない」「考えてもいいアイデアが出ない」「物事を考えると時間がかかるから」という回答が多かった。このことから、発想や構想がうまくできるようになれば、デザインすることが好きになるといえる。

本題材では、同じテーマにそって少人数グループで話し合いを繰り返し、伝えたい内容をまとめてポスターを制作していく。自分一人ではアイデアを深められない生徒もグループでのかかわり合いを通して、自分の考えを広げたり深めたりして制作していくことができると考える。また、単に自己の感覚のままに表現することなく、互いに考えを伝え合い、見方や表し方を深めていく学習活動を展開したい。

5 指導と評価の計画(別紙)

6 本時の達成目標

美術への関心・意欲・態度	
発想や構想の能力	伝えたい内容について形や色彩の効果を生かして工夫したことを説明している。 〈生徒の記述例〉 <ul style="list-style-type: none">・伝えたい部分を強調しようと図柄を大きくして焦点化させた。・伝えたい部分にグラデーションを使用して強調させた。・元のポスターのコピーが明るいので、赤い色を使用して、止めようということを見る人に伝えたい。
創造的な技能	
鑑賞の能力	伝えたい内容についての形や色彩の効果を感じとり、自分の価値意識をもって発言したり記述したりしている。

7 本時の指導構想

(1) 本時のねらい

本時は、評価規準の「発想や構想の能力」の「伝えたい内容について形や色彩の効果を生かして工夫したことを説明している。」を主にねらったものである。

(2) 「論理の意識化を図る学習活動」にかかわって

【考えがいのある課題設定】

学習課題を「より分かりやすく印象的に伝えるためにはどう工夫したらよいか」と設定する（2 課題を把握する。）。

課題解決の基になるのは、1年生の時に学習した色彩の知識や構成美の要素である。これについては導入の段階で確認する。具体的には、「焦点化」「構成美の要素」「色の感情」の3つである。

【「論理の思考型」を用いた言語活動】

特に論理の思考型①類別思考を用いて考えさせたい。本時の5の場面で、伝えたい内容をより分かりやすく印象的に伝えるために工夫した点を根拠をもって記述させたい。これまで制作した自分のアイディアスケッチとかかわり合い後に制作したアイディアスケッチとを比較しながら記述させたい（5 アイディアスケッチを行い、工夫した点を記述する。）。

【かかわり合い】

1度目の自己決定後、4名のグループでかかわり合いを設定する（4 デザイン会議を開く。）。ここでは、自分の考えを伝えるとともに、自分とは異なる考え方に触れて、分かりやすく印象的に伝えるための工夫を深めていく。

【自己評価活動】

終末において、自己評価活動を行う（6 自己評価活動を行う。）。グループや全体とのかかわり合いを通して自己決定して記述した内容に自信をもったり、考えが変わったりしたことをまとめさせたい。また、今後のポスター制作への意欲などを記述できるようになってほしい。

8 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法	教材・ 教具等
導入 5分	1. 前時の復習をする。 2. 課題を把握する。	1. 制作のよりどころとなるキーワード「分かりやすく印象的に伝える」を確認させる。 形や色彩の効果を確認させる。 「焦点化」 「構成美の要素」 「色の感情」 2. 自分のアイディアスケッチに照らし合わせて確認させる。		・視聴覚機器 ・学習シート
より分かりやすく印象的に伝えるためにはどう工夫したらよいか				
展開 40分	3. 1で確認した視点で工夫した点を記入する。 【自己決定①】 4. デザイン会議を開く。 【かかわり合い】 【類別思考】 5. アイディアスケッチを行い、工夫した点を記述する。 【自己決定②】 【類別思考】	3. 1で確認した視点で工夫した点について根拠を理由づけながら記述させる。 4. グループで鑑賞して、他者の表現の工夫を感じとったり、アドバイスをもらったりして構想を深めさせる。 グループ内での話し合いが深まるように机間指導を行う。 5. デザイン会議をもとにアイディアスケッチをさらに工夫させる。1で確認した3つの視点をもとに工夫を考えて制作し、工夫した点を記述させる。	5. 【発想や構想の能力】 伝えたい内容について形や色彩の効果を生かして工夫したことを、根拠をもって記述する。 〈学習シートの記述〉 A：美的感覚や既習内容を用いて理由づけながら記述する。 C：アイディアスケッチから感じとらせる。	・学習シート ・学習シート ・付箋 ・学習シート
終末 5分	6. 自己評価活動を行う。			・学習シート ・視聴覚機器
分かりやすく印象的に伝えるためには、伝えたい部分の絵を焦点化することで、強く訴えることができることが分かった。また、仲間の意見から自分では思いつかない工夫があり、今後の制作に活かしていきたいと思いました。				

5 指導と評価の計画

2年 美術		題材名 ポスター「14歳の主張」		総時間	16時間扱い
学習指導要領の指導事項				題材の目標	
A 表現(2)(3) 目的や機能の表現 イ 伝えたい内容をより多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。				社会や身近にある問題について考えたことを形や色彩の効果を生かして構想したり、工夫したりしながら表現する活動をとおして、美術がコミュニケーションの手段として果たす役割について考えるとともに生活の中で活用していく力をつける	
美術への関心・意欲・態度		発想や構想の能力		創造的な技能	鑑賞の能力
関 学校生活や現代社会の問題について考えたことを伝える表現に関心を持ち、主体的に造形的な美しさなどを総合的に考えて構想を練ったり絵の具の特性を生かしたりしようとしている。		発 感性や想像力を働かせ、学校生活や現代社会の問題について考え、伝えたい内容を形や色彩の効果を生かして構想を練っている。		創 感性や造形感覚などを働かせ、表したいイメージをもって、絵の具の特性を生かし、表現意図に合う表現方法を工夫したり制作の順序などを総合的にとらえたりして創造的に表現している。	鑑 美術作品や自他の作品の表現意図や表し方の工夫などを感じ取り、社会にメッセージを発信する美術の働きなどについての理解や見方を深めている。
時	主な学習活動	おおむね満足(B)	十分満足(A)	評価事例	
1 2	社会にメッセージを発信する美術の働きなどについての理解や見方を深める。	関 デザインと生活とのかかわりを理解しながら、学校生活や現代社会について考え、伝えたいことを表現しようとする。 鑑 ポスター表現の工夫について感じとろうとする。	・デザインと生活とのかかわりを理解しながら学校生活や現代社会について主体的に考え、表現しようとする。 ・ポスター表現について見方を深めて、ポスターの働きについて考えようとする。	6 提示されたポスターの伝えたい内容をより伝えるための工夫を根拠をもって記述する場面。 【学習シート】 感性や想像力を働かせ、学校生活や現代社会の問題について考え、図柄の焦点化など、既習内容を使用して、印象的に伝えるために構想を練っている。	
3 4 5 ⑥ (本時)	伝えたい内容を形や色彩の効果を生かして構想を練る。テーマに沿ったアイデアスケッチやコピーを考え、画面に構成する。	発 感性や想像力を働かせ、学校生活や現代社会の問題について考え、図柄の焦点化など、既習内容を使用して、印象的に伝えるために構想を練っている。	・感性や想像力を働かせ、学校生活や現代社会の問題について考え、図柄の焦点化など、既習内容を効果的にいかにしながら印象的に伝えるために構想を練っている。	■おおむね満足(B)	■十分満足(A)
7 8 9 10	伝えたいことが効果的に伝わるように、下絵を制作する。	創 感性や造形感覚、デザイン会議での意見をもとに、伝えたいことが効果的に伝わるように、下絵を描いている。	・感性や造形感覚、デザイン会議での意見をもとに、伝えたいことが効果的に伝わるように、工夫をこらして下絵を描いている。	・伝えたい部分を強調しようと図柄を大きくして焦点化させた。 ・伝えたい部分にグラデーションを使用して強調させた。 ・元のポスターのコピーが明るいので、赤い色を使用して、止めようということを見る人に伝えたい。	・視点を変えながら伝えたい部分を強調して焦点化させました。 ・伝えたい部分にグラデーションを効果的に使用して見る人の興味をひきつけさせた。 ・元のポスターのコピーが明るいので、警告を与える意味がある赤い色を使用し、止めようということを見る人に伝えたい。
11 12 13 14 15	伝えたいことを色彩の効果を生かしながら制作する。	創 伝えたいことを色彩の効果を考え、配色や様々な表現技法を工夫して彩色することができる。	・伝えたいことを色彩の効果を考え、配色や様々な表現技法を工夫して彩色することができる。	・伝えたい内容について形や色彩の効果を生かして工夫したことを、根拠をもって記述したり、説明したりしている。	・Bに加えて伝えたい内容について形や色彩の効果発想力豊かに用いて、伝える愛とのかを考えて根拠をもって記述したり、説明したりしている。
16	鑑賞活動を通して、仲間の作品のよさや表現の工夫を感じ取り、発表する。	鑑 自他の作品のよい点、工夫している点について、自分なりの意見、感想を記述することができる。	・感性や想像力を働かせて、自分の見方や感じ方で作者の思いや意図、表現の工夫を感じ取り、記述したり発表したりすることができる。	【C：指導の手だて】 ポスターの図からポイントを伝えながら感じとらせ、自分の考えをもたせたい。	